



# 鶴舞マイハート便り

発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503

〒290-0512 千葉県市原市鶴舞 575 ☎ 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032

U R L <http://www.pref.chiba.lg.jp/byouin/junkan/index.html>

## 循環器病センター5つの運営指標

良質で模範的な医療の提供を目指します。

温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。

常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。

近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。

透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

## はじめまして 循環器病センター広報誌を発刊しました！

事務局・地域医療連携室

### 発刊にあたって

循環器病センターは緑豊かな市原市鶴舞にあります。当センターの様々な取り組みや地域の身近な情報、生活に役立つ情報をお届けし、みなさまからも情報を頂いて、一緒により良い病院を作ってまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

この広報誌は、事務局スタッフ及び地域医療連携室で作成いたします。まずは、各スタッフの意気込みをお伝えします。

（事務局 東島）

### ○ 地域医療連携室スタッフ

・患者さまと病院職員の交感の場となりますよう、わかり易く役に立つ広報誌をお届けします。

（鈴木診療部長）

・センター職員の医療への取り組み姿勢や大切にしている事等を紹介することで、「この病院に来て良かった」と思っただけのようなホッとするようなニュースをお伝えできるように取り組んでいきます。（稲葉看護師長）

・スタッフは広報誌作成未経験者ばかりのため、行き届かない点多々あるかと思いますが、センターと患者さまや他医療機関との橋渡し役として、これからセンター内の情報を提供していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（渡辺、西川、石塚、鈴木、岩崎）

### 広報誌名の由来

「鶴舞」は所在地の鶴舞の地名をとり、「マイハート」は、患者さまの心を受け止めて、私たち病院スタッフの心もお伝えし、お互いの思いを伝え合うということから名づけました。





## センターの紹介

循環器病センターは  
こんな病院です

### 病院の概要

千葉県循環器病センターは、昭和 30 年に、千葉県立療養所鶴舞病院(結核病床 200 床)としてスタートしました。昭和 36 年には、千葉県立鶴舞病院に名前を変更し、以後地域の中核医療を担ってまいりました。

平成10年には、千葉県循環器病センターとして生まれ変わり、循環器の専門病院、また、地域中核病院として幅広い一般治療を行なっています。

### 施設の概要

#### ○ 許可病床

一般220床(内、ICU・CCU・SCU20床 ※)

#### ○ 施設

地上6階・地下1階・ガンマ棟 延床面積 21,924㎡

### 診療科目

循環器科、心臓血管外科、神経内科、脳神経外科、内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科

※その他特殊な診療部門として、脳卒中診療部、ガンマナイフ治療部、成人先天性疾患診療部を設置しています。外来の診療日については、お問い合わせください。

### 【用語解説】

※・ICU⇒集中治療室

・CCU⇒急性心筋梗塞や狭心症などの心疾患を対象とした集中治療室

・SCU⇒脳梗塞、脳内出血などの脳卒中を対象とした集中治療室

## 突撃インタビュー センター長の巻

### ① センター長の目指す病院像とは？

良質で模範的な医療を行なっていくためには、まずは職員の労働環境の条件を整えることが重要と考えています。患者さまに対して良い医療を提供する為には、職員・医師・看護師・他のコメディカルの人たち皆が肉体的にも精神的にも健康でなければならないと思います。また、センター病院として、臨床だけではなく、教育・研究もやっていきたいです。

### ② 今の病院に必要なことは？

色々な面ではありますが、なかでも特に重要なことは、医師をどのように確保するか、全国的に医師不足が続く中、当センターをどのように運営していくかが課題です。また、循環器疾患や脳・心臓疾患治療に力を入れるのと合わせて、どのように地域医療を担っていくかを考えていかなくてはならないと思います。また、センター開院後この10年で職員の医療に対する意識は確実に向上していますが、より良い医療の提供を目指して、センター職員のさらなる意識の向上も必要です。

### ③ センターへ赴任したきっかけは？

当時の医局の人事でここへ赴任しました。私の専門は脳

血管疾患の外科治療で、特殊な手術を行なってきたので、この地でがんばれ！というようなことだったのだと思います。赴任後は、千葉県の田舎にある循環器病センターで脳神経外科治療を発展させるため、学会活動や地域との連携を行い、患者さまに一人でも多く来ていただけるように努力してまいりました。

今後もより良い医療を提供するために職員一同がんばってまいりますので、よろしく願いいたします。



小野 純一 センター長  
於 センター長室  
平成 19 年 11 月対談

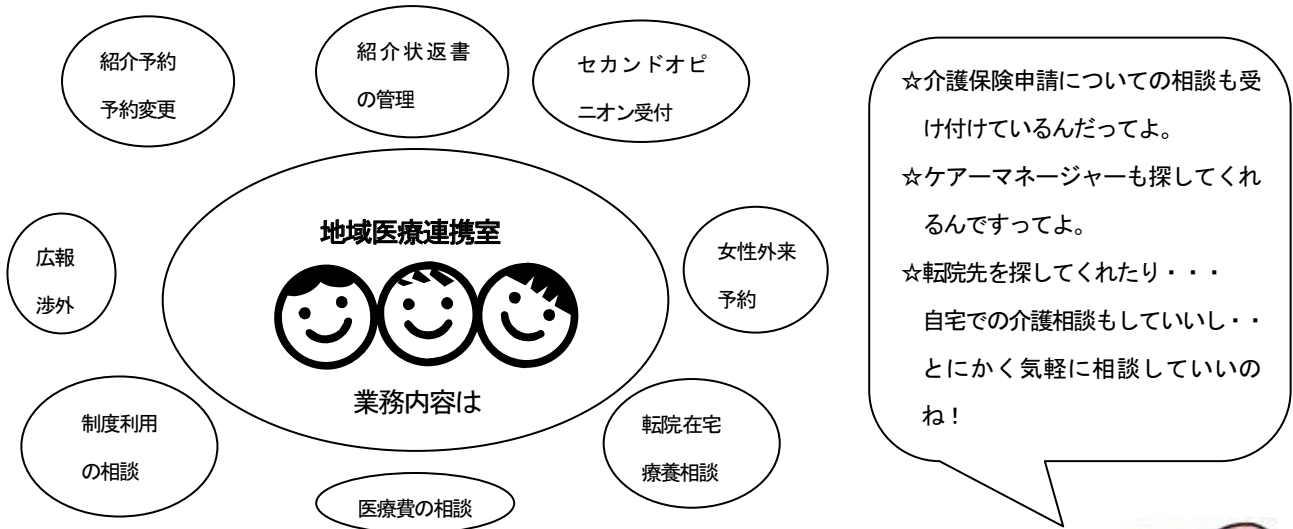
★外来診療でお疲れのところを、そんな疲れは微塵も感じさせず約30分、和やかな雰囲気の中丁寧にお答えいただき、センター長の勤勉さと正直さが伺っている私たちにも伝わってきました。様々な難問で忙しい日々を送られているセンター長に、早くお好きなゴルフでリフレッシュできる日が来ることを願っています。

以上センター長への突撃インタビューでした



## 地域医療連携室の紹介

**地域医療連携とは**、患者さまそれぞれの病状にあった適切な医療を提供するために、センターと他の病院やかかりつけ医が連携・分担をし、患者さまを紹介し合う仕組みです。



地域医療連携室は2階事務局の中にあります。お気軽にご相談ください!

○開所時間 月曜日～金曜日 8:30～17:00

○TEL 0436-50-6501 ○FAX 0436-50-6503



### ちょっと足をのばして・・・

#### 松田正平アトリエ館

松田正平氏は、島根県に生まれ、山口県宇部市にて育ち、晩年に郷里の地に帰るまで、32年間にわたって鶴舞で油絵を描き続けました。ここアトリエ館では、当時の松田氏のアトリエの様子や画家の素顔を伺い知ることが出来ます。趣のある併設の「茶房ひむろぎ」では、オーナーご主人の手打ち蕎麦(数量限定!)や手作りケーキを堪能できます。奥さまの素敵な手織り作品も展示してあります。また、「ひむろぎ工房」では、様々な企画展が催されています。

●場所：市原市鶴舞 658 ●Tel (0436-88-2070)

●公開日：毎週土・日(午前11時～午後4時)※2月・8月は休館です



●道案内：センターを出て1つ目の信号を右折し、2つ目の信号機の手前の道を左折し(松田正平アトリエ看板あり)、まっすぐ進むと四つ角の右手に看板が出ています。

※センターより徒歩10分

### 病院の なぜなぜ？

### 高額療養費制度

#### Q どんな制度？

A 1か月分の入院費の支払いが高額になった場合、支払った後に一定額を超えた分は申請することにより、払い戻しを受けることができます。また、今年の4月から、認定証の交付を受ければ、窓口での支払いが一定の限度額までで済むようになりました。

#### Q 対象になる方は？

A 健康保険に加入している方が対象です。\*保険料に滞納がある方や、交通事故等による入院は対象外となります。

#### Q 手続き方法は？

A 加入している医療保険の保険者へ申請します。\*認定証の交付を受けるには入院した月の間に手続きが必要です。

#### Q 手続き先は？

A 加入している医療保険の種類によって異なります。国民健康保険は市役所、町・村役場、政府管掌健康保険は社会保険事務所、組合管掌健康保険は保険組合となります。

ご不明な点は、地域医療連携室までご相談ください

## ギャラリー「二つ返事」のご案内

ギャラリー『二つ返事』は、当センター2階ロビーにあります。36㎡ほどの小さなスペースですが、本格的な展示空間となっています。センターに入院される患者さまや外来の方々に少しでもなごんでいただけるように、毎月色々な展示を行なっています。ぜひお立ち寄りください。

### ○名前の由来は？

ギャラリー『二つ返事』の由来は、鶴舞在住の陶芸家の岸本恭一氏が名付けてくれました。今まで、ギャラリーへの展示の依頼をお願いした際、「皆さん、二つ返事でOKしてくださいました。」と申し上げたところ、岸本氏が「それでは、このギャラリー名を『二つ返事』にしましょう。」とおっしゃったことによります。

### 【開催案内】

○12月

房総族 「写真展」

○平成20年 1月

高澤 文雄「上総凧・雛人形展」

○平成20年 2月

鶴舞商業共同組合「写真展」



## ★ ちょこっと 診療所★

### インフルエンザ対策

インフルエンザウィルスは低温・低湿を好み、乾燥していると長時間空中を漂っています。病原体は主にのどや鼻から感染するのでマスクや、うがい、手洗いは感染ルートを断つためにも重要です。特に部屋の中は適度な温度・湿度、そして換気が重要です。

### 高齢者の方は予防接種を受けましょう！

特に高齢者は肺炎を合併することが多く、死に至ることもあります。予防に効果的なのは、インフルエンザに負けない体力、気力、そしてワクチンです。インフルエンザの流行前に(毎年10月下旬～12月中旬)予防接種を済ませましょう。

\*当センターでは実施しておりませんので、お近くのかかりつけ医か市町村の窓口へご確認ください。なお、高齢者の方の自己負担額は概ね1,000円ですが、市町村によって若干異なりますので、併せてご確認ください。



## センター内の催し物 お知らせ

### ○クリスマス会

①日 時：平成19年12月20日(木)  
午後4時～

②場 所：1階 エントランスホール

③プログラム：鶴舞小学校の児童・三育短期大学の大学生による「クリスマスソング」、鶴舞看護専門学校生徒による「フラメンコ」・「和太鼓」、当センター職員による発表

★参加自由ですので、当日会場へお越しください。

### ○市民公開講座

①日 時：平成20年1月19日(土)  
午後2時～4時

②場 所：2階 多目的ホール

③テーマ：「脳卒中治療の現状と展望」

④申し込み方法：「公開講座希望」と明記のうえ、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、広報誌表紙の連絡先まで「はがき」、「ファックス」、「電話」のいずれかで申し込みをしてください。

☆・★・ お便り募集中 ・★・☆  
病院、医療に関することやちょっと気になることや、ご意見・ご感想をお待ちしております。ぜひ、1階エントランスホールの箱へお入れください。

皆さまのお便りお待ちしております！